



令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

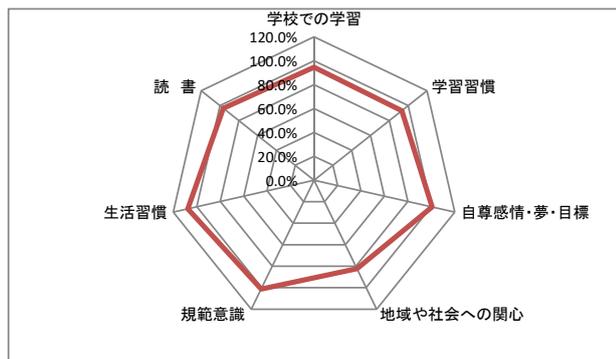
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に全校平均正答率を下回っています。特に書くこと、書く能力についての知識・理解についての正答率が下回っています。 読むこと領域については全国平均を上回っています。 	下回っている
数学	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に全校平均正答率を下回っています。特に数量や図形などについての知識・理解についての正答率が下回っています。 数学的な技能、関数については全国平均を上回っています。 	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習については、自分で計画を立てて勉強をしている数値が全国平均を上回っていました。「自学ノート」の活用を1年生から行うことによる学習習慣が身につけていることが考えられます。しかし、1日あたりの勉強時間に関しては、平日・土日ともに全国平均を下回っています。 学校に行くのが楽しいという生徒が全校平均を上回っています。しかし、「将来の夢や目標をもっていますか。」という設問については全国平均を下回っています。 規範意識も高く、決まりを守ることがきちんとできおり、将来人、の役に立ちたいと考える生徒が多くなっています。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 全教科の授業でICTを効果的に活用した授業の工夫と実践を継続し、わかる授業を目指します。
- 全教科で、授業の中で振り返りを行います。記入する際、「どのようなことがわかったか」「どんなところがわからなかった」などの言葉を補いながら、生徒一人一人が自分の言葉でかけるようにします。
- 数学科では、数量や図形などの基礎的・基本的な定着に向けてミニテスト等を実施します。
- 将来について考えさせるために職業調べや高校調べなど中学校生活3年間で計画的に実施します。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 宿題のスタンダード化を行います。「自学自主ノート」の充実を図り、校内表彰、優秀者のノートの掲示をします。
- 春休みを利用した新1年生への宿題、入学後に1年生課題テストを実施します。
- スマホやゲームの使い方については、小中で連携してポスターなどを作成、掲示を行い啓発します。
- 教育相談や進路学習などを通して自分の好きなことや得意なことに気づくことができる場面を設定します。